

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: **2001-067178**

(43)Date of publication of application: **16.03.2001**

(51)Int. Cl.

G06F 3/03; G06F 3/033

(21)Application number: **11-283265**

(22)Date of filing: **30.08.1999**

(71)Applicant: **YOSHIDA HIROSHI**

(72)Inventor: **YOSHIDA HIROSHI**

(54) **CHARACTER INFORMATION INPUT BASED ON HANDWRITING OPERATION**

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To efficiently input information and to save the space of an information input board by executing character information input to information equipment such as a computer by a handwritten character recognition board.

SOLUTION: An information input board substituted for a conventional keyboard is constituted of a handwritten information recognition board and function keys. Information is inputted to the board by an information input pen. That is, information is inputted by the pen and the function keys. The function of a conventional mouse is imparted to the pen. The input information is transmitted to an automatic handwritten information recognition system to process the information and images/characters are displayed on a display.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2001-67178
(P2001-67178A)

(43)公開日 平成13年3月16日(2001.3.16)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マ-ト*(参考)
G 0 6 F 3/03	3 8 0	G 0 6 F 3/03	3 8 0 R 5 B 0 6 8
3/033	3 1 0	3/033	3 1 0 Y 5 B 0 8 7

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平11-283265

(22)出願日 平成11年8月30日(1999.8.30)

(71)出願人 598007089

吉田 博

神奈川県横浜市港北区日吉1丁目5番25

(72)発明者 吉田 博

神奈川県横浜市港北区日吉1丁目5番25号

Fターム(参考) 5B068 AA01 BD02 BD17 BE14 CC19

CD06

5B087 AA06 AE06 BC03 CC01 CC26

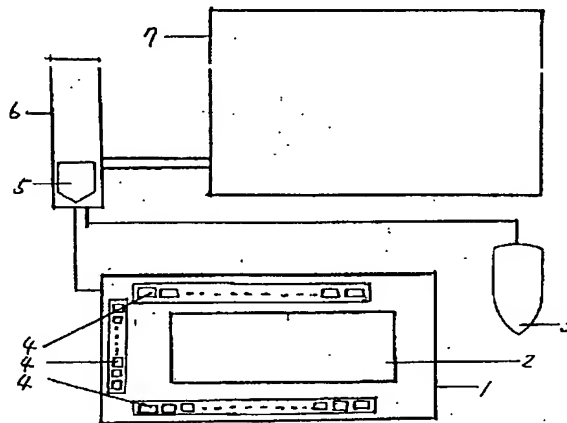
DD00 DD14 DD17

(54)【発明の名称】 手書きオペレーションによる文字情報入力

(57)【要約】

【目的】コンピュータ等情報機器への主たる文字情報入力を手書き文字認識ボードにより行い、効率的な情報入力と情報入力ボードの省スペース化を図るものである。

【構成】従来のキーボードに代わる情報入力ボード1は手書き情報認識ボード2及びファンクションキー4から構成されている。そして情報入力用ペン3によりこの手書き情報認識ボード2への情報入力が行われる。即ち、情報入力は情報入力用ペン3とファンクションキー4により行われる。尚、従来のマウスの機能は情報入力用ペン3にその機能を付帯させる。入力情報は手書き情報自動認識システム5に伝送され情報の処理が行われ、ディスプレイ7により画像文字表示される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】コンピュータ等情報機器への主たる文字情報入力を手書き文字認識ボードにより行う。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、コンピュータ等情報処理システムの一部をなす情報入力機器であるキーボードの改良に関する。

【0002】

【従来の技術】コンピュータ等情報機器への主たる情報入力方法はキーボードにより行われている。このキーボードによる日本語文字情報入力方法としてローマ字入力とかな文字入力の方法があるが、いずれの方法においても漢字等は平仮名表記を経由して該当文字を抽出するという間接的検索であり、当該漢字のキーボード入力によりディスプレイへの直接的表示はできない。又、漢字、カタカナ、平仮名、数字等の選択にはその選択指示入力が必要となっている。又、情報入力のため為のキーボードは上記システム対応の為に相当のスペースが必要となっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来のキーボードによる日本語入力は、ローマ字入力或いはかな文字入力のいずれの方法においても漢字等は平仮名表記のディスプレイ上の表示を経由して抽出するという工程が不可避となっており、当該漢字の直接的抽出はできない。このような間接的文字抽出は該当文字をダイレクトに抽出出来ないため検索工程分の時間が必要であり非効率となっている。又、漢字、カタカナ、平仮名、数字等の選択にはその選択指示入力が必要となっている。更に、キーボード上の各キーの機能付与状況やキーの配列等も従来のキーボードシステムとしては省スペース化、携帯性の向上の視点から見ると限界点に達している。

【0004】

【課題を解決する為の手段】上記目的を達成するために本発明は、従来のキーボード上のキー入力に換え、主たる情報入力を情報入力用ペンをを用い、手書きオペレーションによる情報認識ボードへの接触による自動認識システムにより行う。

【0005】

【実施例】本発明は手書きオペレーションによる文字情

報入力に関するもので、図1は機能関係を示す説明図である。従来のキーボードに代わる情報入力ボード1は手書き情報認識ボード2及びファンクションキー4から構成されている。そしてこの手書き情報認識ボード2への情報入力は情報入力用ペン3により行われる。即ち、情報入力は情報入力用ペン3による情報認識ボード2へのマニュアル指示入力と、ファンクションキー4のボタンを押すことにより行われる。尚、従来のマウスの機能は情報入力用ペン3にその機能を付帯させる。上記二つのルートから入力された情報はオペレーティングシステム、アプリケーションソフト6の一部を構成する手書き情報自動認識システム5に伝送され情報の処理が行われる。その情報処理状況はディスプレイ7により画像文字認識される。尚、情報入力用ペン3の手書きボードへの接触による情報自動認識に関わる基本システムは普及しており、そのシステムは本願の要旨ではないので図示及び説明は省略する。

【0007】

【発明の効果】本発明の手書きオペレーションによる文字情報入力の構成及び作用は以上の如くであり、従来のキーボードによる文字情報入力とは異なり高機能化、省スペース化、更には携帯性の向上が図られる。即ち、漢字入力、カタカナ入力、平仮名入力アルファベット入力等、いずれも中間工程の選択作業が自動化、省略化され情報入力の作業の効率化が実現し、作業時間が短縮できる。又、手書き情報認識ボードを使用するため文字・数字入力用のキーは不要となり更にマウスも情報入力用ペンにその機能を付帯させる為、従来のキーボードと比べ較べ省スペース化、携帯性の向上が図られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の機能関係を示す説明図である。

【符号の説明】

- 1 情報入力ボード
- 2 手書き情報認識ボード
- 3 情報入力用ペン
- 4 ファンクションキー
- 5 手書き情報自動認識システム
- 6 オペレーティングシステム、アプリケーションソフト
- 7 ディスプレー

【図1】

